

# D X人材育成へ連携

## 山梨大と千葉工大が協定締結

### 研究リソース相互提供

山梨大と千葉工大は20日、デジタル・トランスフォーメーション（DX）といった急激な社会変革へ対応するため、デジタル分野やイノベーション創出を担う人材の育成や確保などに向けて包括的連携協定を結んだ。連携効果で両大学のブランド力を高め、優秀な学生確保につなげる狙いだ。

〈小野田洋平〉

山梨大はクリーンエネルギーやワインの研究などに特色があり、千葉工大は手掛けた「査機「はやぶさ2」の観測機

器の開発・検討に参画するなどの強みを持つ。山梨大では2024年度に工学部の改組を予定する中で、両大学の学長や理事長がかねてから交流する縁もあって大学の強みを生かそうと連携に至った。

教育面では、大学院生の交流（単位互換）をはじめ、各研究センターでの学部（院）生の研修やキャリア教育などで相互に受け入れることを予定。研究面では、ロボット、惑星探査、クリーンエネルギー、医学、生命環境学の各分野でリソースの相互提供を行う計画だ。

同日は山梨大大村智記念学術館大村記念ホールで協定締

### 包括的連携協定締結式



協定を締結した山梨大の島田真路学長（左）と千葉工大の瀬戸熊修理事長（中央）、松井孝典学長  
＝山梨大大村智記念学術館大村記念ホール

結式を行った。山梨大の島田真路学長は「今回の協定が両大学の教育、研究水準を向上させ、社会の求める課題解決、地域の発展、それを支える科

学技術の発展に寄与すると信じている」とあいさつ。千葉工大の松井孝典学長は「私立とか国立とか枠組みにとらわれずに、人材育成、研究を進めていきたい」と述べた。

長崎幸太郎知事のビデオメッセージがあったほか、協定締結を記念したシンポジウムも開かれた。